

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	児童文学研究				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

高校国語の定番教材である「羅生門」を初め、芥川龍之介の作品は近代文学の定番として広く親しまれている。その中には「蜘蛛の糸」「杜子春」といった読者としての子どもを意識した作品も存在する。本講義では、このような読者としての子どもを意識した作品を中心に、芥川龍之介の作品を一人読み、ディスカッションを通して、深く読んでいくことにする。

《授業の到達目標》

各作品について、他の受講者の読みを共有しつつ、叙述に即した自分の読みや見解をまとめ、文章で表現する。

《テキスト》

芥川龍之介『蜘蛛の糸・杜子春』新潮文庫（授業内で毎時間用いるため、必ず用意すること）

《参考図書》

芥川龍之介についての参考文献は多数あるので、図書館等で閲覧するとよい。また、CiNiiで芥川龍之介や、各作品に関する学術論文を検索、閲覧することも可能なので、積極的な活用が望まれる。

《授業時間外学習》

各回に取り上げる作品について、読んだ上で気になる点や箇所を挙げておくこと。また、授業外で各作品や時代背景等について調べる必要がある場合がある。

《成績評価の方法》

授業に対する貢献度（積極的な発言、円滑なディスカッション進行に対する貢献等）20% 授業内で指示した提出物・ノート提出30% 期末レポート50%

《備考（教員経験の有無）》

授業内容や自分が調べたこと、考えたことを記録する習慣をつけること。提出を求めることもある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方の説明
2	芥川龍之介について	芥川龍之介の伝記事項とその時代を知る
3	「蜘蛛の糸」	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
4	「蜘蛛の糸」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
5	「犬と笛」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
6	「犬と笛」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
7	「杜子春」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
8	「杜子春」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
9	「トロッコ」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
10	「トロッコ」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
11	「猿蟹合戦」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
12	「猿蟹合戦」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
13	「白」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
14	「白」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
15	まとめ	これまでの授業を振り返って、芥川龍之介やその作品について考える